

商店街活性化事業計画の概要

地域

神奈川県横浜市

認定日

平成23年12月13日

事業名：地域住民と連携したソフト事業の強化による楽しく安全に歩ける滞留型商店街の実現

事業者名：石川商店街協同組合（神奈川県横浜市）

事業実施期間：平成23年12月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・地域住民が求める「商店街の個性・独創性等の魅力づくり」、「ゆったりと歩ける滞留型の商店街づくり」等のニーズに対応すべく、新たに商店街ブランド商品の創出に取り組むとともに、お休み広場整備や街路の舗装整備を行うことで、来街者が寛ぎ歩いてまちを楽しむことのできる空間を提供する。また、商店街の支援ボランティア隊を組織し、地域住民と連携しながらチャリティーマルシェ等の魅力溢れるイベント事業を行うことで、楽しく安全な滞留型商店街の実現を目指す。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

- ・アンケート調査では、「商店街に求めるもの」として「歩きやすいゆったりとした歩道」という回答が最も多く、「商店街への不満」として「商店街としての特色がない」「個性的な店舗が少ない」が上位を占めた。

◆実施計画の主な内容

・バリアフリー舗装街路整備事業・お休み広場整備事業

商店街街路のバリアフリー型舗装整備と新たな拠点となる商店街広場の整備を行う。当該整備事業により、来街者が安心してお買い物を楽しめる滞留空間を整備する。また、当広場を地域のお休み処と位置づけ、地域住民等多世代が交流できる空間を提供。イベント時には当広場をイベントステージとして活用し、新たな賑わいも創出する。

・石川町商品発掘調査事業

来街者に向けて商店街で欲しい商品をリサーチし、各個店が独自の商品・サービスなどを開発する。商店街にて研究会を定期的開催し、組合員同士や専門家が各個店の「いち押し商品」の評価・検討を行うことで、来街者のニーズに合わせた商品改良を行う。さらに、各個店の「いち押し商品」のコンテスト等を行うことで石川町ブランドの認定を行い、石川商店街の魅力を高めていく。

・石川商店街愛称募集・ロゴマークコンテスト

商店街の愛称・ロゴマークを広く一般から募集し、コンテストイベントを通じて認定を行う。認定された愛称・ロゴマークは石川町ブランドの商品や各種イベント等、様々な場でPRを行い、新たな商店街の特徴を確立していく。

■商店街活性化事業計画の目標

- ・商店街の通行量を事業計画終了時に平成22年度と比較して5%の増加を目指す。
(平成22年度 平日7,690人/日 → 平成26年度 平日8,074人/日)
- ・商店街の売上高増加率を事業計画終了時に平成22年度と比較して5%の増加を目指す。

【商店街の様子】



【チャリティーイベントの様子】



【クリスマスイベントの様子】

